

< B 中学校の実践例 >

- ① 調査等から見える学校の課題について
  - ・ 保健体育の授業等（運動領域や種目、運動に関する意識調査等）とのつながりの中で、運動習慣のある生徒とない生徒の二極化が見られる。
  - ・ 授業中に課題解決の場面の設定や、個に応じた指導が行われていると思う生徒が50%にとどまっている。
- ② 課題を踏まえた学校の目標
  - ・ 保健体育授業の導入では、主運動につながる動きづくりを行いながら、運動する楽しさや喜びを体験させる。
  - ・ 保健分野や体育理論の中で科学的な運動に関する知識を理解させるとともに、体育委員会を中心とした生徒主体の取組を継続し、休日や長期休業期間における積極的な運動を含めた運動の習慣化を目指す。
  - ・ 課題解決の場面や個に応じた指導（ホワイトボード、フラッシュカード、学習カード等）に見える化した授業を実施し、生徒が課題解決の場面設定や個に応じた指導が行われていると思う割合を70%にする。
- ③ 体育・保健体育授業の工夫改善に向けた取組事例等について

ア 体力調査結果等の活用

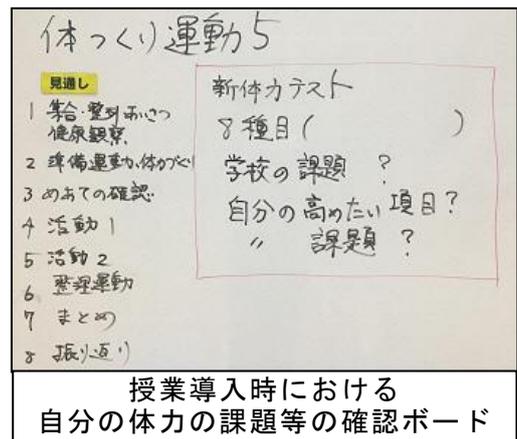
授業の導入時に、豊野中の体力の結果と課題等を確認し、自分の体力の状況で高めたい項目、課題等を確認する。

また、自分の体力の改善点を意識して授業に臨ませる。

イ 新体力テストの2回実施

6月と12月に新体力テストを実施し、その結果をもとに、保健体育授業の工夫改善に生かす。

ウ 保健体育授業における導入及び振り返りの工夫



授業導入時における自分の体力の課題等の確認ボード

過程	学習活動	体力向上に向けた工夫改善の取組
導入	1 集合・整列・挨拶 健康観察（脈拍の確認） 2 準備運動を行う。 ブラジル体操やラジオ体操の、それぞれの動きの質（大きく、速く、力強く、正確に）の向上を図る。 3 めあてと学習の流れを確認する。 本時の見通しを提示し、授業内容を理解させ、活動への意欲へ導く。	・ 脈拍をとり、体への意識を高める。  今日の脈拍は何回かな。普段の脈拍と比べてみよう。 <b>見通し</b> 1 集合・整列 挨拶 健康観察 (脈拍の確認) 2 準備運動 (ブラジル体操) 3 体力づくり 4 めあての確認 5 学習内容 ・ 6 整理運動 7 まとめ 8 振り返り

展開	4 各時間の学習内容。	・活動量の確保を行う。
まとめ	<p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考える。</li> <li>・学習カードに〇〇〇を記入する。</li> <li>・班で〇〇〇について話し合い、深める。</li> </ul> <div data-bbox="300 479 807 618" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習のまとめでは、学習内容に気付け、主体的に取り組ませるように心掛ける。</p> </div> <p>6 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードに記入したり、発表をしたり聞いたりして学びを深める。</li> </ul> <div data-bbox="300 763 807 947" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時の振り返りでは、フラッシュカードをもとに、本時の学習を振り返らせ、同時に、自己の変容に気付かせるようにする。</p> </div>	<p>・学習課題（問題）についてまとめる。</p> <div data-bbox="842 293 1401 618" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <p>(班ごとのまとめの様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてが達成できたか確認する。</li> </ul> <div data-bbox="842 719 1417 947" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「何が分かったのか」  「何ができるようになったのか」  「どのようにわかったのか」  「この学びでどう変わったのか」</p> </div> <p>(振り返りのフラッシュカード)</p>

エ その他の工夫改善

- ・水泳の授業に参加できなかった生徒を中心に、夏休み期間中等を利用して、補習的な学習活動を行う。
- ・地域の人材(地域の少年自然の家職員による出前講座など)を活用し、実技指導(剣道、サッカー等)を行い、運動技能の向上を図る。



地域の指導者による実技指導の様子(剣道・サッカー)

④ 取組の成果と課題について(○:成果、▲:課題)

- 体力向上プログラムを作成したことで、自らの体力向上への関心や授業への意欲が向上した。また、始業前に行う体育委員会主催のランニングへの参加率が増加した。
- 授業に見通しが持てることで、授業に意欲的に参加することにつながっている。また、まとめと振り返りを確実にすることによって、めあてに向かう集団の質が高まり、授業が円滑に行えるようになった。
- ▲ 様々な取組を行ったことで、活動時間の確保がやや不十分であった。
- ▲ 地域の人材を活用する日程の調整と専門種目に課題が残った。